

副会長 織田正道

日私学保連 平成20年度全国総会・研修会埼玉大会が、去る7月17日・18日の両日にわたり、ラフレさいたまを会場に全国から総勢500余名の参加者が集まって、盛大に開催されました。



17日は全国から参加された代表理事の皆さんによる理事会・総会が開催され、新しく新延会長(九州)が選出されました。その後の懇親会では「浦和木遣り保存会」のアトラクション等で暖かく歓迎し、親睦を図りました。

18日は「感謝、感動、感激」をテーマに研修会が開催され、1部は講演があり、2部から埼玉県保護者も参加し日私学保連の活動報告・各県地区活動発表を聴取しました。埼玉県も、発足から本大会を迎えるまでの1年間の足どりを全国に発信しました。

アトラクションでは星野高校による迫力ある琴の演奏、城北埼玉中高校の気合の入った少林寺拳法の演武、小松原高校の男声による合唱とまさに感動・感激のシーンでした。指導される先生と生徒間の深い信頼関係がうかがえたのが頼もしかった。その後のレセプションは2つの会場に分かれ、各県別学校間で情報交換し懇親を図りました。

全国総会・研修会が埼玉県で無事開催出来たのも、加盟34校の参加協力があればこそと考えます。関係各位の皆様方に心から感謝申し上げますと共に、今後、埼玉私学保連の活動に対し、ご協力ご指導をよろしくお願い致します。

アトラクション担当(副会長 森本雅枝)

埼玉私学保連催し物での“恒例”となりつつある生徒発表のステージ。今回も3校の生徒の皆さんが研修会を盛り上げて下さいました。ステージに赤い毛織を敷き詰め、指先に繊細さと激しさをも表現する星野高等学校箏曲部の皆さんの演奏に始まり、演武という名のおり道着をまとい床を踏み込む心地よい音に、きりりとひきしまった声と姿の城北埼玉中学高等学校少林寺拳法部の皆さん。60人の心ひとつになった歌声を会場いっぱい響かせてくれた小松原高等学校音楽部の皆さんはアカペラという耳と声と心で表現する合唱の醍醐味をたっぷり満喫させてくれました。



日私学保連・新延新会長



受付担当(書記 近藤順子)

「感謝・感激・感動。そして達成感！」が終えての感想です。初めていらして下さる方に分かりやすく、なんでも聞きやすい環境にしたい。昨年の経験を基にご案内係りを細かく配置し、おもてなしの心を一番に準備させて頂きました。埼玉のスタッフも臨機応変に動いて下さり有難うございました。来賓に感謝、スタッフに感謝の2日間でした。



# vol.3 Saishigakuhoren NEWS

## 埼玉私学保連ニュース



平成20年度ごあいさつ

……会長 靄野幸雄



中高協会と一丸となって活動できるようにと、昨年2月18日に埼玉私学保連が立ち上がりました。19年度の具体的な活動として「代表者連絡会議、定期総会、請願活動、埼玉県私学振興大会、研修大会、埼玉私学保連ニュースの発刊」を行いました。また、全国保護者会の日私学保連にも加盟しました。初年度という事でどれもこれもたどたどしい運営ではございましたが、保護者会の皆様方の協力を得ながら、役員一同団結して1年間活動してまいりました。

今期2年目、この会が更に発展するよう、特に、次の2つを掲げて努力してまいります。1つ目は、11月24日の埼玉県私学振興大会の開催です。昨年は、2,000名以上集まって頂き、盛大に行いました。今年も皆様方の参加ご協力を頂き大会成功に向けて頑張っております。是非、平成20年度埼玉県私学振興大会(11/24)へご参加頂きますようお願い申し上げます。2つ目は、公費支出の公私間格差の是正を求める「請願」活動の推進であります。高校進学において、公私間にある授業料格差が私学を志望する、または私学の保護者の大きな負担になっております。授業料格差を生み出している公私間の公費支出の格差について、その是正を求める活動として今年も「署名活動」を行います。平成18年度入学生の年間授業料と入学金との合計額は、県内私立高校・生徒当たり平均が598,076円に対し公立高校は、120,850円とその格差は4.9倍となっており、私学を選ぶ際の大きな障害になっていること。また、私学に通わせる保護者の大きな負担になっていることを是正するための活動です。残念ながら、昨年43万人の署名を頂きながら、本当に悔しいのですが、請願受付もされない対応を経験しました。しかしながら、公私間格差是正を実現させるための手法としての必要性から、今年も署名活動を行います。是非ご理解の上、昨年を上回る署名をお願いします。

また、7月17、18日の日私学保連の全国総会・埼玉大会については、当日は暑い中、埼玉県へ全国から約500名の参加を頂き、ここに参加して下さった当会の単位保護者会の皆様のご協力を頂き、47年間に1回の開催県として、全国に埼玉の私学ありと、成功裡に終了することができました事を心より御礼を申し上げます。今後とも埼玉私学保連の活動についてご理解とご協力宜しくお願い申し上げます。



平成20年度理事一同 設立2年目を迎え、今年度も地道な活動を 積み重ねていきます。



- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 会長 靄野 幸雄 (浦和学院)  | 理事 村野 健二 (浦和学院)  |
| 副会長 織田 正道 (昌平)   | 理事 五十嵐由紀子(浦和実業)  |
| 副会長 森本 雅枝 (国際学院) | 理事 鈴木 弘彦 (正智深谷)  |
| 副会長 待鳥 美光 (城北埼玉) | 理事 中嶋 みゆき (星野)   |
| 副会長 早船 雅文 (開智総合) | 理事 山岡 明子 (星野)    |
| 会計 大島 匡 (大妻嵐山)   | 理事 浅見 日出雄 (武蔵越生) |
| 会計 浦部 真理子 (浦和実業) | 理事 真渡 真一 (細田学園)  |
| 書記 近藤 順子 (獨協埼玉)  | 理事 土屋 里香 (東邦音第二) |
| 書記 内田 明子 (大宮開成)  | 理事 早川 茂 (大妻嵐山)   |
| 監事 林 慶寿 (会長指名)   | 理事 久保田 秀樹 (東京成徳) |
| 監事 佐藤 多賀子 (会長指名) |                  |

## ◇埼玉私学保連は青少年の健やかな育ちを応援します◇

埼玉私学保連は活動の大きな柱として、「私学振興」と「青少年健全育成」を掲げています。

### 埼玉県青少年健全

### 育成施策を知ろう！



日私学保連埼玉大会で演武する  
中高生（城北埼玉中学高等学校  
少林寺拳法部）

地域と連携して、青少年にさまざまな体験機会を提供する取り組みも盛んです。私学といえども、地域の人たちの支えはとても大切！よい関係を築いていきたいものです。



日私学保連埼玉大会での演奏  
（星野高等学校箏曲部）



日私学保連埼玉大会での男声合唱  
（小松原高等学校音楽部）

## 青少年を取り巻くさまざまな問題

最近、青少年に関わるさまざまな問題が指摘されています。例えば社会生活のマナーやルール、基本的な生活習慣が身につけていない青少年、フリーターやニートなど社会的に自立できていない青少年が増えていると言われています。また、少年非行の低年齢化が進み、再非行の割合も高くなっています。インターネットや携帯電話

の普及により、若者が有害情報に接する機会が増え、学校裏サイトや出会い系サイトなどを通じて、犯罪やいじめの当事者となる新たな問題も表面化しています。

地域の教育力低下が指摘されている中で、埼玉県は、これらの青少年の問題にどのように対処していこうとしているのでしょうか。

## 埼玉県青少年健全育成推進プラン

埼玉県では、「ゆとりとチャンスの埼玉プラン」に基づき、平成20年度から24年度の5年間の取組を明らかにする計画を今年1月に策定しました。計画では①青少年の社会性や生きる力を育む ②青少年に安全・安心な地域をつくる

③学校の教育力を高め、家庭・地域の教育力を再興する の3つの基本目標を定め、国や市町村はもとより、NPOや地域団体、民間企業等との連携・協働を進めていくことにしています。埼玉私学保連もその一翼を担い貢献していきます。

### 埼玉県から保護者の皆様へ 《埼玉県＊青少年課に聞きました》

今回策定したプランは、達成目標を明記したり、毎年度、取組目標を可能な限り数値化するなど、今まで以上に具体的な計画となっています。この目標を具現化するためには、行政だけでなく、家庭・学校・地域が連携して、それぞれができることを最大限に取り組むことが必要です。私たちは、保護者である皆様と一緒に、このプランを推進するとともに、青少年の健全育成に全力で取り組んでまいります。そして、多くの青少年が「夢」や「志」に向かって果敢に挑戦することができる人間に成長していただきたいと考えています。

埼玉県青少年健全育成推進プランは、<http://www.pref.saitama.lg.jp/A01/BR00/seishounen/aopage.html> でご覧になれます。

## ◇埼玉私学保連は県内私学の振興に貢献します◇



改正教育基本法第8条として、私立学校に関する条文が新設されました。

## 公費支出の公私間格差の是正に向けて

公私立の間には、公費の支出や授業料負担などの面で大きな格差があります。埼玉における私学運営費補助額は、生徒1人当たりの補助金の全国最高額約51万円に対して、26万円と全国最下位となっています。昨年度は、中高協会との共催による埼玉県私学振興大会を11月22日に開催し、2000名以上の参加者を集めて「保護者

の経済的負担を軽減し、学校選択の自由を確保するため、公私間格差の是正に努める。生徒一人当たり私学助成単価を少なくとも千葉県、神奈川県並みに確保する」と決議しました。学校選択の自由を広げ、私学教育を振興していくためには、保護者への条件付きの補助だけではなく、私立学校に対する助成が不可欠です。

## 今年度の署名活動

しかし昨年度は、43万人の署名を集めた請願も受け付けられず、現状を打開するめどは立っていません。県内私学保護者の組織が一本化されていないことや、請願手続上の問題点、バウチャーによる保護者への直接補助を優先する

県の考え方などが理由として挙げられています。今後も引き続き、課題の解決に努めながら、私学助成への理解を求めるための署名活動に取り組んでいきます。一人でも多くの方のご協力をお願いいたします。

## 平成20年度埼玉県私学振興大会に向けて

今年度も、埼玉私学保連のメインの事業である私学振興大会に向けて、中高協会と合同の実行委員会が始動しています。昨年度同様、2000名規模の動員をはかり、盛大に開催して、県内私学保護者の連携と活力をアピールしたいと思

います。子どもたちが、各々の個性を大切に、将来の夢の実現に向かって自由に学校を選択できる環境をつくっていくために、2000人の保護者が一堂に会する集いです。是非ともご参加ください。

（私立学校）

第八条 私立学校の有する公の性質及び学校教育において果たす重要な役割にかんがみ、国及び地方公共団体は、その自主性を尊重しつつ、助成その他の適当な方法によって私立学校教育の振興に努めなければならない。



上記の改正教育基本法に基づいて閣議決定された国の教育振興基本計画（平成20年7月）には、私学助成に関する条項が盛り込まれています。埼玉県でも、県の教育振興基本計画策定のため昨年度より検討会議が設置され、間もなく県民に案が公表される予定です。注目していきましょう。

**私学振興大会**

**11月24日(月)**

**さいたま市文化センター**

**14時開会！**